（様式第２号）

ＳＤＧｓ達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに，チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは，NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて，読み替えてください。
・これから取り組む項目については，取組内容の記載の前に，【予定】と記載し，これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（株式会社南日本情報処理センター）

分類	ＮＯ	チェック項目	基本	ﾁｬﾚﾝｼﾞ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なＳＤＧｓ（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織体制	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している。	●		経営理念、経営目標含めた経営計画（経営基本方針）を明文化し、グループウェアへ公開し、社内共有している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し，法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		経営計画にもコンプライアンス（法令遵守）の経営基本方針が示され、社内浸透している。 コンプライアンスプロセスを定め、遵守状況を確認する仕組みを構築している。																16	
	3	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		品質・環境・情報セキュリティー等の社内方針を遂行すべく専門の事務局を設置し、各部署に品質・環境・情報セキュリティー等の各々の担当者を設置し、体制整備している。SDGs活動に関する活動状況についても経営管理本部にてとりまとめを行っている。																16	
	4	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により，自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し，適切に対応している。（※利害関係者：消費者，投資家等及び社会全体）	●		毎年ITフェアを開催し、その中でフェアで興味をもったことやITの困りごとに関するアンケート調査を実施している。このアンケート内容をもとに困っている点について提案活動を実施している。																16	17
	5	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して，責任を持った対応に取り組んでいる。		●	地域活動への積極的な広告協賛、スポーツチームとのスポンサー契約、鹿児島のIT普及とスキル向上のための無償のITフェア開催を行っている。																16	
	6	【災害や事故などのリスクへの備え】 ・自然災害や事故などに備え事業継続計画（ＢＣＰ）を策定し，訓練や見直しを行っている。		●	事業継続管理規定の策定、各部署毎に事業継続管理台帳を作成し、具体的なBCP策定状況を整理し、社内で定めたBCPレベルに応じて定期的な訓練を実施している。									9		11		13.1			16	17
	7	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
公正な取引	8	【贈収賄の禁止，公正な競争】 ・汚職・贈収賄の禁止及び不正な競争に関与しない方針を掲げ，社員に周知している	●		経営基本方針にも企業運営のあらゆる場面においての法令遵守を掲げ、コンプライアンスプロセスも定め、社員へ周知している。										10						16.5	
	9	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		案件の受注前において、受注判定会議を実施し、知財に関する権利担保の確認を実施し、契約書締結時においても知財含めた契約内容につき、顧問弁護士へのリーガルチェック等を随時実施している。								8.2 8.3	9								
	10	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報保護方針を策定し、個人情報保護管理規定を定め、周知及び教育も実施し、適切に管理している。																16	
	11	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー，事業パートナー等と，人権侵害の防止，生物多様性や生態系への悪影響の防止，倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し，共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	12	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
人権・労働	13	【差別・ハラスメントの禁止】 ・性別，年齢，障がい，国籍，出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され，社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		ハラスメント防止指針を全社員に共有・周知徹底しており、苦情相談窓口を設け、適切に対応している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	14	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により，過度な長時間労働を防止し，家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		労務管理者も設置し、毎月会議等での長時間労働チェックを行っている。また、育児・介護休業制度、テレワーク活用や休暇取得推進（リフレッシュ休暇、記念日休暇等）、再雇用者への時短勤務・週休3日制度の導入を行い、ワークライフバランスを推進している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	15	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため，安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		安全衛生委員会を設置し、毎月会議での労働環境等の確認、健康診断及びストレスチェックの実施を行い、産業医とも連携しながら、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。			3					8.8									
	16	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性，外国人，障がい者，高齢者等）が，十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		多様な人材を意識した採用活動、入社後の業務運営や昇進・昇格等においても差別的待遇はなく誰もが活躍出来る環境としている。 雇用環境の整備及び女性活躍・子育て環境促進のための施策を実施し、かごしま子育て応援企業認定、くるみん認定を受けている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	17	【人材育成】 ・適切な能力開発，教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		教育実行委員会にて各部署の委員も交えて研修内容を検討し、全社員へ案内し、教育訓練の機会を与えている。また、社員教育体系図を制定し、階層別研修を定め、各階層にて必要な研修を受講している。さらに、資格取得における奨励金制度も実施している。				4	5.5			8	9								

（様式第２号）

ＳＤＧｓ達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに，チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは，NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて，読み替えてください。
・これから取り組む項目については，取組内容の記載の前に，【予定】と記載し，これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（株式会社南日本情報処理センター）

分類	ＮＯ	チェック項目	基本	ﾁｬﾚﾝｼﾞ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なＳＤＧｓ（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	18	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず，同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		給与規程等も定め、従業員（正社員、契約社員など）の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	19	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ，生産性の向上等に取り組んでいる。	●		安全衛生委員会を中心とした検診受診啓発、健康障害未然防止のためのセルフチェック、外部EAPサービスの活用等、健康維持に向けた対策やメンター制度の導入、健診やインフルエンザ予防接種の費用補助等も実施している。（かごしま健康企業宣言も実施）			3					8									
	20	【ＤＸの推進】 ・ＩＣＴやＡＩを活用したデジタル化等のＤＸの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	全社員にAIツールを配布し、業務の効率化が図れている。								8	9.1		11	12					
	21	【労働環境改善に関する県の登録・認定】 ・労働環境改善に関する県の登録・認定を受けている。 （例）鹿児島県女性活躍推進宣言企業，かごしま子育て応援企業，かごしま「働き方改革」推進企業		●	かごしま子育て応援企業登録・認定を受けている。			3	4	5			8		10							
環境	22	【廃棄物・有害化学物質の管理等】 ・関係法令に基づき適切に廃棄物や有害化学物質の管理及び処理に取り組んでいる。	●		関係法令に基づき、発生する産業廃棄物については、専門業者（認定業者）と連携し、適切に管理・処理している。			3.9			6.3					11.6	12.3 12.4 12.5		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど，自社のエネルギー使用量を把握し，その削減に取り組んでいる。	●		事務局にて電気・紙使用量等を定期的にとりまとめを実施している。社内照明はLED化し、昼食時間の消灯、オンライン会議による移動にかかるコストや社用車も多くを軽自動車に移行し、ガソリン代の削減も図っている。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し，排出の抑制に取り組んでいる。	●		事務局にてガス使用量等を定期的にとりまとめ実施及び周知を行い、ガス空調機の温度設定指示や社有車においてもエコカーの採用を増やすなど、排出抑制を意識した取り組みを行っている。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入，かごしま認定リサイクル製品等）。	●		再生紙利用の推進、環境に配慮したRoHS指令対応のＩＴ機器推進を推進し、また、安心・安全な自社データセンターでのサービス（DCサービス）の提供による環境負荷低減に取り組んでいる。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	26	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している。	●		環境に配慮した製品等への取り組み、機器のリサイクル活動、適切な業者による廃棄物処理を心がけている。また、地域の清掃活動等への参加、また、間接的ではあるが海洋環境保全・森林の適切な管理に繋がるようなシステムの提供を行っている。						6.6								14	15		
	27	【３Ｒの推進】 ・ごみを減らし，資源を有効的に繰り返し使うため，発生抑制（リデュース），再使用（リユース），再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		再生利用を意識したごみの分別（再生可能分）の実施、部品リサイクルやバッテリー回収等、３Ｒを意識した取り組みを行っている。						6.3			9.4		11.6	12.2 12.4 12.5	13	14.1	15		
	28	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し，利用効率の改善に努めている。		●			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001，エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している。		●	ISO14001認証取得している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	31	【環境情報開示】 ・環境の取組に関する情報を正しく開示している。		●													12.6					
	32	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善や再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4				13.1 13.3				
	33	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●													12.2	13	14	15		
	34	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・植林等，持続的な森林利用への取組を推進している。		●							6.1 6.3 6.6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		

（様式第２号）

ＳＤＧｓ達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに，チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは，NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて，読み替えてください。
・これから取り組む項目については，取組内容の記載の前に，【予定】と記載し，これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（株式会社南日本情報処理センター）

分類	ＮＯ	チェック項目	基本	ﾁｬﾚﾝｼﾞ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なＳＤＧｓ（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	35	【海洋ごみ】 ・プラスチックの使用削減等海洋ごみの削減や，海洋汚染の防止に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	36	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や，電気自動車や水素自動車などの環境に配慮した自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質確保】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		品質方針、品質・環境マニュアル、各種プロセスを定め、品質マネジメントシステム(ISO9001）に基づく製品・サービスの提供を行っている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		社内では障害者も意識した多目的トイレの設置やスライドドアの採用、社外へのシステム・サービスの提供においては、誰もが簡単に利用しやすい（簡単に利用開始出来る）クラウドサービス等も提供し、自社データセンターに環境を整備している。									9.1	10	11.7						17
	39	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	人手不足を解消するため、業務効率化に向けたAIやIoTの導入に向けた提案を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会・地域貢献	40	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動，防災活動や寄付，ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		地域清掃活動への参加、エコキャップ収集活動、献血活動、各種スポーツ活動への協賛支援、地域や団体の教育企画への支援活動など、積極的に社会貢献活動に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	41	【地域資源】 ・地域産物等の地域資源を積極的に利用（地産地消等）している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	42	【インターンシップの受入れ等】 ・職場体験，インターンシップの受入れ，出前講座の実施など，地域の児童や学生に対し，学びの場を提供している。		●	職場体験及びインターシップの受け入れを実施している。 また、南日本小学生プログラミング大会（南日本新聞社主催）への協賛も行い、子供たちのITやプログラミングへの関心を高める活動を支援している。				4				8.6		10.2							17
	43	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組を行っている。		●	会社説明会だけでなく、地元高校や大学の説明会への参加やUターン希望者の受け入れ等、地元の学生の採用を行っている。また、ITフェアも毎年無料開催し、県内の多くの専門学校生が参加し、一部採用にもつながっている。				4.4				8.5 8.6									17
	44	【持続可能な観光の実現】 ・持続可能な観光（サステナブルツーリズム）の実現に寄与する取組を実施している。		●									8	9		11	12		14	15		17
	45	【条件不利地域の振興】 ・条件不利地域（離島や中山間地域等）の振興に寄与する取組を実施している。		●	奄美市に支社を構え、社員も3名常駐し、奄美をはじめ、離島地域のIT普及へ向けた提案活動を行っている。		2	3	4			7	8	9	10	11	12		14	15		17
	46	【移住・交流の促進と関係人口の創出・拡大】 ・地域外からの移住・交流の促進や，関係人口（※）の創出・拡大に寄与する取組を実施している。（※移住した「定住人口」や，観光に来た「交流人口」ではない，地域や地域の人々と多様に関わる人々）		●	鹿児島県が実施する「マッチング支援事業における移住支援金対象法人にかかる申請」を実施し、取組を実施している。								8			11	12			15		17